



## 問 公共交通体系ネットワーク構築について

**答** 事業の利用促進をすすめ、持続可能な交通体系の構築を図りたい

高齢化の進展に伴い、住民の移動手段、町の公共交通のあり方を問う。

**問** 路線バスの状況は。

**生活安全課長** 幸手市さくら祭りの期間中、権現堂臨時停留所に路線バス乗入れを実施、この2ヶ月間の利用者は前年比419人増、来年度も継続したい。

**問** ごかりん号の状況は。

**生活安全課長** 利用状況は表のとおりです。※サイクル・アンド・バスライドとして、全29ヶ所中16ヶ所が付近に利用可能な駐輪場があります。駐輪場情報は「ごかりん号マップ&時刻表」に標記しています。

**問** 公共交通空白地有償運送の状況は。

**健康福祉課長** 協力会員16名、利用会員341名。内訳は通院介助1,078件、外出・買い物386件。

**問** 今後の公共交通体系は。

**生活安全課長** 町内及び周辺地

域に移動手段の選択幅を広げ、誰もが使える交通体系を構築したい。



運行システム別 H29年度費用		路線バス	ごかりん号	在宅福祉サービス
運行費用	(円)	27,558,885	20,946,993	10,014,244
営業収益	(円)	8,924,200	1,910,925	2,263,800
国・県補助金	(円)	5,329,000	7,411,000	-
町負担金	(円)	13,305,685	11,625,068	7,750,444
利用人数	(人)	55,137	12,801	1,775

運行システム別に、利用人数と町負担金を比較  
(路線バスとごかりん号は H28/10~H29/9 実績)

※サイクル・アンド・バスライド…バス停の近くに駐輪場があり、自宅から自転車でバス停まで行き、バスに乗り継ぎして目的地へ行けるシステム。

## 問 空家対策等計画について

**答** 生活安全課を総合窓口とし、空家等対策の情報を発信

空家等が適正に管理され、環境が安全・衛生的に保たれる対策のあり方を問う。

**問** 空家等の現状と課題は。

**生活安全課長** 情報媒体を活用し、適正管理の重要性を伝え、自主的な適正管理を促します。また、相続などの法律相談や住まいに関する悩み等、専門家による空家相談会を実施します。

**問** 空家関連サービスの定期的な情報発信は。

**生活安全課長** 遠隔地の方は、インターネットなどで連絡をいただき、相談会で専門業者に語り回答しています。

**問** 補助金等による活用促進は。

**生活安全課長** 空家の譲渡所得3,000万円特別控除など周知を図る。また、空家の利用や除去

など、空き家対策総合支援事業などの補助金も必要なものは活用したい。

**問** 特定空家等に対する措置は。

**生活安全課長** 周辺的生活環境の保全を図るため必要な措置をとるよう指導。改善が見られない場合には、勧告、措置命令、代執行と行っていく。